

ETAJIMA GoON! エタジマゴーオン

オリーブ丸ごと体験を
楽しんでほしい。



能美町中町

瀬戸内いとなみ舎

Vol.23

江田島市で初のアグリツーリズム体験施設を作ろうと奮闘している、瀬戸内いとなみ舎代表の峰尾亮平さん。地域おこし協力隊として着任してから7年、『動く』タイミングを迎えた峰尾さんが挑戦する、今後のオリーブ事業とは。

いとなみ舎の挑戦「アグリツーリズム」

2月下旬、能美町にある旧給食センターで瀬戸内いとなみ舎の代表として活動する峰尾さんは、『アグリツーリズム』のモニターツアーを実施した。今後定期的にツアーを行うため、現在進行形で施設を改装中だ。「これまで、この場所はオリーブの食品製造工場として使用していました。ずっと開いているカフェとか飲食店ではないのですが、今後は飲食営業許可を取って、ツアー参加者に農業体験をしてもらった後、オリーブを使った食事を提供したり、みんなで一緒に体験活動ができるような場所に改装しています」

アグリツーリズムとは、ヨーロッパ発祥の休暇の過ごし方のひとつ。都市部に住む人たちが、地方の農場などに滞在して、農業体験や文化を楽しむ観光を指します。「昔、私が実際にイタリアに行ってアグリツーリズムを体験した時、とても楽しかったので、ずっと印象に残っていました。いつか自分でも…とは思っていたのですが、今回有難いことに旅行会社さんからオリーブを絡めたツアーの提案を頂いたので、印象に残っていたこの体験を実際にやってみよう、挑戦してみようと思ったんです。この場所を、ツアーを通してオリーブを丸ごと体験できる施設にしようと思っています」オリーブの収穫体験をした人たちが一緒にランチを食べ、オリーブオイルをテイastingし、オリーブそのものについて学ぶ。江田島市内では他にない、新しいスポットになる予定だ。

オリーブ栽培を認知から雇用、産業へ

峰尾さんは7年前、地域おこし協力隊・オリーブ栽培技術指導員として着任、神奈川県から移住してきた。卒業後、オリーブ栽培事業を主とした「瀬戸内いとなみ舎」を開業、栽培や実を原料とした商品の開発のほか、協力

隊から引き続き巡回指導や現地での技術指導を行っている。「7年経って一番変わったと思うのが、オリーブに対しての認知度。江田島市と言えば、牡蠣とか術科学校とかと同じように『オリーブ』と口にしてくれる方が増えたなと思います。今は、オリーブ栽培が雇用になって産業になっていく基盤を作る段階に差し掛かっているのではないかと思います。頑張ってきたとオリーブを育てれば、品評会で賞を貰えるまでになったんです。あとは、僕も含めオリーブ農家さん達がいかに頑張っているか」

オリーブは木に実が成る。野菜などと違い、栽培面積を増やしても収穫量が増えていくまでには時間がかかる。それならば、まずはオリーブそのものに興味をもってもらい、体験や観光分野で交流を広げていくことを峰尾さんは考えたという。「商品開発ももちろん基本ですが、もつと幅広く捉えて、木とか枝とか、余すことなくオリーブの魅力を伝えていくことを、この施設がモデルとなってできればいいですね」

オリーブから江田島市のファンへ つながりを生み出す場所に

先日行われたいとなみ舎のモニターツアーでは、参加者に10時から15時までオリーブ尽くしの一日を体験してもらった。「単純にオリーブ農家体験が楽しい」「オリーブにこんな魅力があるのを知らなかった」などの声をもらったと、嬉しそうに峰尾さんは話す。「自分の強みを考えた時に、単に食事を出すだけでなく、オリーブの栽培方法やオリーブオイルの魅力、江田島市の取組みなどを、参加者さんとおしゃべりしながら伝えていくことも、自分が提供出来る体験なんだと気づいたんです。この場所を、オリーブをきっかけに集まった人の『話せる場』にしていきたい

ですね。オリーブのことだけでなく、今の江田島市のことについても、他のお店やおすすめの観光スポットとかについてもたくさん話すことができる。このツアー体験を経て、江田島に興味を持ってもらって、1年に1回は足を運んでくれたり、オリーブの収穫を手伝ってくれたり、他のお店を回ったりしてほしい。なんて言うのか…そういう江田島市の特産品であるオリーブのファンを作りたい。もしかしたら、その人たちが今後一緒に働いてくれる仲間になるかもしれないし！そういう人が増えていくと楽しいなあって思います。ここを、オリーブと江田島と人をつなぐ、つながりがどんどん生まれる場所にしていきたいです」

取材後、オリーブの仕分け作業の手伝いをしていた仲間が「峰尾さんは7年経って、神奈川のシティーボーイから、すっかりオリーブのお兄さんになったね」と笑っていた。「そんなにシティーボーイではないんだけど、来たばかりの頃は、今こんなことをしてるなんて想像してなかったからね(笑)」と峰尾さんも笑う。「多分これがタイミング。島でも新しい交流を生むスポットがどんどんできていくし、『オリーブで観光を』というのも自分にとって新しい挑戦なんです。アグリツーリズムは日本ではまだまだ珍しい取組みかもしれませんが、これが上手くいけば他の農家さんでも同じようなことができるかもしれません。協力隊の時から、僕はオリーブを通じた役割みたいなものを『もらっている立場』。ずっと、やらせてもらっている感覚なので、これからもその時々で自分ができることでチャレンジしていきたいですね」

できたばかりの作業場で皆さんの笑い声が響く光景を見ながら、今よりもさらに多い人数で作業を進める峰尾さんの未来の姿が、私には想像できた。



瀬戸内いとなみ舎

広島県江田島市能美町中町
ホームページ ▶ <https://itonamisha.thebase.in/>
Instagram ▶ @itonamisha_

オリーブオイルのほか、商品やイベントの情報も



一部分はDIY！体験の場を改装中

広い旧給食センターを現在改装中。一部分は、峰尾さんや仲間自らDIYで作業しています。また、完成後は時間限定で一般開放することも考え中だとか。どんな新しい交流の場になるのか、完成が今から楽しみです！

